

9 事業スケジュールと今後の課題

9.1 事業スケジュール（案）

基本構想策定後のスケジュールについては、令和7年度に基本計画の策定及び民間活力導入可能性調査を並行して実施し、事業手法を決定した上で詳細なスケジュールの検討を行います。ここでは民間活力（PPP/PFI）を導入した場合に想定されるスケジュールを示します。また、社会・経済（建設市場の動向）によってはスケジュールの見直しが求められます。

〈事業スケジュール（案）〉

| 年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 | 令和13年度 |
|--------------|----------|---------------------|-------|---------------------|--------|--------|---------|---------------|
| 事業 スケジュール | 基本 構想 | 基本 計画 | 発注準備 | 事業者 応募・選定・ 契約 | 設計 | | 建設・外構工事 | |
| | | 民間活力 導入可能性 調査 | | | | | | 開業 準備 |
| | | | | | | | | ★ 開業 目標 |

9.2 今後の課題

本基本構想では、現状と課題を整理・分析し、市民や関係団体からの意見聴取を行いながら基本コンセプトや建設候補地を示してきました。

今後は、施設の運営や適切な施設規模や概算事業費、事業手法、財源、民間活力導入の可能性等について検討し基本計画を策定していきます。

(1) 望ましい民間運営事業者の発掘と運営方針の検討

民間事業者のノウハウを活用して地域と連携しながら安定した運営を目指し、望ましい民間運営事業者の発掘を行う必要があります。また、建設候補地が半田運動公園内であることに鑑み、他のスポーツ施設との連携や広域的な活用、効果的なイベント等の開催など効率的かつ効果的な運営方針を検討する必要があります。

(2) 施設運営から考える施設計画の検討

更なるサービスの質的向上を図るため、新総合体育館の運営方針を施設計画に反映していく必要があります。また、市民の期待や多様化する利用者ニーズに応えることのできる機能・諸室の設置、規模の確保、混雑時の動線処理を考えたゾーニング、駐車場の設置を含む施設配置、平面計画等の検討を行う必要があります。

(3) スポーツ施設の集約化の検討

公共施設等総合管理計画においては、人口減少の進行等に伴い将来的には公共施設のニーズが減少し、保有する公共施設等が過剰になる「量の課題」が指摘されています。施設総量の適正化を踏まえ、公共施設の集約化についての可能性の検討を行う必要があります。

(4) 駐車場設置のあり方の検討

建設候補地となる半田運動公園内には複数の駐車場が設置されていますが、新総合体育館を利用した大規模イベント開催時には、現在よりも大規模な駐車場が必要になることを踏まえ、駐車場整備のあり方を整理しておく必要があります。

(5) 概算事業費の算出

施設計画を踏まえた施設整備費(設計・建設、外構工事費)や什器・備品購入費、維持管理・運営費等の費用を含めた概算事業費を検討する必要があります。また、近年は建設単価、労務単価の高騰が著しく物価変動対策も重要な検討課題となっています。こうした市場動向を踏まえながら費用の算出を行っていく必要があります。

(6) 事業手法の検討

長期的に市民のスポーツの活動を支えることのできる施設整備や維持管理、運営の実施に向けて、官民連携により民間事業者のノウハウを最大限活用できるようサウンディング調査を実施し、その上で近年の他団体事例等を踏まえた定性的・定量的な評価を実施することで、適切な事業手法を検討する必要があります。

(7) 財源の確保

健全な財政運営と将来世代の負担を軽減するため、事業手法と同時に活用可能な補助金や交付金及び起債、基金の確保等について把握・整理を行い、有効活用していく必要があります。